



①矢羽根の路面表示の上を一緒に並んで走る高校生たち(ザ・ヒロサワ・シティ会館付近) ②レンタルサイクルで千波公園を走る様子 ③自転車マークの路面表示(走行中のクルマから見えやすいように縦長に描かれている) ④街頭で自転車のルールを呼びかける市職員(駅南中央通り) ⑤大洗鹿島線サイクリートレイン

また、空気入れや駐輪設備を店舗へ貸出すなど、自転車でも市内を巡りやすくするための取組も進めているところ。また、空気入れや駐輪設備を店舗へ貸出すなど、自転車でも市内を巡りやすくするための取組も進めているところ。また、空気入れや駐輪設備を店舗へ貸出すなど、自転車でも市内を巡りやすくするための取組も進めているところ。

**自転車の安全のために
まちにするために**
平成28年から、青い矢羽根などの路面表示の整備が続いています。令和3年度に御茶園通りの路面表示を整備したことで、水戸駅と赤塚駅が矢羽根でつながりました。また、日ごろから市職員などが街頭に立ち、自転車を利用する方へ向けて、路面表示の意味や自転車のルールを直接呼びかけています。

自転車の安全のために まちにするために

緑岡高校3年
蛭田 愛未さん 石川 京桜さん



ルールを守って、みんなが安全に自転車に乗れたらいいな！

道路に青い矢羽根の表示ができたことで、歩行者、自転車、クルマが通る場所がはっきりとわかりやすくなったのが良いと思います！自転車に乗る人は、自然と矢羽根の上を走ることを意識するから、安全ですね。でも、せっかく矢羽根があるのに、車道を逆走してくる人がいて、ヒヤッとしたこともあります…。

ルールはみんなが守らないといけませんよね。自転車に乗る人もクルマを運転する人と同じように、ルールを守らなければ罰せられるから、責任を持って走りたいです。クルマを運転する人も、自転車の安全のために、配慮してくれたらうれしいです。ちゃんとみんなに正しいルールが届くような取組があったらいいなと思います！

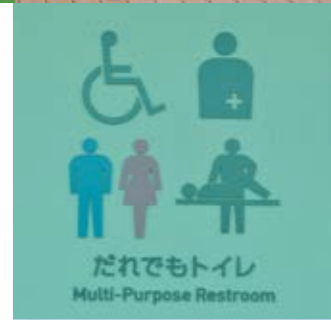
自転車に乗ってみたいくなるまちにするために―― 自転車利用環境の整備



特集 つながる つなぐ つながる 交通政策で

「交通政策」の目的は、皆さんが安心して、快適に移動できるようなまちをつくることです。

問合せ／交通政策課(☎291-3804)



歩く、走る、運転する――。
「移動」という行為は、人と場所、人と人をつなぐ、私たちの生活に必要不可欠なものです。交通政策は、この「移動を支える、大きな役割を担っています」。

市では、次の三つの分野から、交通政策を進めています。それぞれの分野について審議会などを組織し、市民の皆さんや学識経験者などと一緒に、より良い交通政策を考えてきました。

自転車利用環境の整備
自転車に乗ってみたいくなるまちにする

バリアフリー化の推進
誰もが出かけやすいまちにする

持続可能な公共交通の実現
バスなどの公共交通で、快適な移動ができるまちにする

今回の特集では、市の交通政策について、三つの分野でのこれまでの取組と、今後の展望を、市民の皆さんの声とともに紹介します。

誰もが出かけやすいまちにするために バリアフリー化の推進



一緒に考えるバリアフリー
 実際に、障害者と一緒にまちを歩き、意見を取り入れながら歩道の舗装や点字ブロックの整備などを進めてきました。また、「心のバリアフリー」の啓発にも取り組んでいます。

誰もが出かけやすいまちにするために
 単に法律の基準を満たしているだけでは、十分なバリアフリーとは言えません。車イス利用者にとっての利便性と視覚障害者にとっての利便性がかみ合わないこともあります。引き続き、積極的に利用者の方に意見を聴く機会をつくり、すべての人にとっての利便性を考慮した整備につなげていきます。



①市役所本庁舎東側のスロープ ②視覚障害者との意見交換の様子 ③本庁舎北側の横断歩道に整備したエスコートゾーン(横断歩道で視覚障害者を誘導するための突起) ④バリアフリー教室の様子(堀原小) ⑤障害者とのまち歩き点検の様子

快適な移動ができるまちにするために 持続可能な公共交通の実現



利用しやすい公共交通を
 これまでに、バス路線の再編や、市内8地区での1000円タクシーの運行、みとバスMAPの作成、バスの乗り方教室の開催などに取組んできました。

快適な移動ができるまちにするために
 通勤・通学、通院など、日常生活を支える公共交通。消毒や換気など、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底していますので、安心して利用できます。公共交通を将来にわたり持続可能なものにするため、今のまちに合った交通体系づくりを進めていきます。



①市役所乗り入れるバス ②車内の消毒の様子 ③混み合うバス停の様子(水戸駅北口) ④鹿島臨海鉄道の列車 ⑤1,000円タクシー-妻里・山根号



公共交通、ぜひ使ってみて！

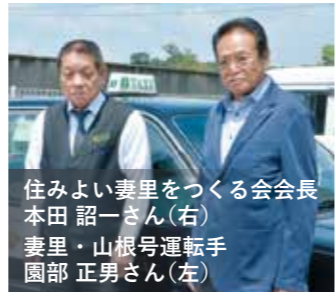
ICカードも使えるし、独自の割引があるのも魅力的。茨城交通のバスの位置情報がわかるサービスは、便利です。公共交通を普段利用しない人が、利用したくなるような取組があればいいと思います！

バスに乗っているとき、運転手さんが「声の良い人」「丁寧なアナウンスの人」だと、つい名前を見てしまいます。横に指導員さんが付くような新人の運転手さんを見ると、成長が楽しみで、ほっこりしますね。

米倉 彩乃さん

「茨城交通バス位置情報サービス」の詳細は、茨城交通ホームページ(<http://www.ibako.co.jp>)をご覧ください。

最新のみとバスMAPは、市ホームページから確認できます。



住みよい妻里をつくる会会長 本田 昭一さん(右) 妻里・山根号運転手 園部 正男さん(左)

1,000円タクシーの利用を呼びかけています！

1,000円タクシーは、高齢化が進むなか、移動の手段として必要不可欠だと思います。口コミで、その便利さが広まれば良いですね。自由に移動するための「足」として日常生活の支えになるので、高齢者に限らず、ぜひ若い世代にも利用してほしいです！

公共交通を利用しにくい地区(上大野、柳河、国田、山根、下大野、大場、妻里、鯉淵)で運行しています。

詳細は、市ホームページをご覧ください。

交通政策の未来を一緒に考えてみませんか？ 公募委員を募集します

- ▼水戸市自転車利用環境整備審議会委員
任期/9月1日から(2年間) 募集人数/2名
- ▼水戸市バリアフリー環境整備推進協議会委員
任期/8月1日から(2年間) 募集人数/2名
- ▼水戸市都市交通戦略会議委員
任期/9月1日から(2年間) 募集人数/3名

対象/市内に居住または通勤・通学する18歳以上で、平日の昼間に開催する会議に出席できる方 選考方法/書類審査・面接審査
 申込・問合せ/6月9日(木)~30日(木)(当日消印有効)に、申込書に記入し、直接または郵送、ファックス、Eメールで、水戸市交通政策課(〒310-8610、☎291-3804、☎291-3952、✉koutsu@city.mito.lg.jp)へ ※詳細は、市ホームページをご覧ください。

知っていますか？ 心のバリアフリー

心のバリアフリーとは、さまざまな心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解しようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。



有賀 絵理さん(右)

「心のバリアフリー」を広めたい！

市役所本庁舎の駐車場には、いつも警備員さんがいて、とても丁寧な対応をしてくれます。これは、水戸市独自の素敵な取組だと思います！また、本庁舎周辺は電柱が地中化されているんですが、歩道に電柱がないだけで、通りやすさが格段に違うんですよ。

心のバリアフリーについて、うれしいエピソードがあります。入口に段差のある飲食店があって、はじめは車イスで入るのに補助が必要だったんですが、何度か訪れるうちに、スロープを作ってくれたんです！小さな心がけでもうれしいので、健常者は、多目的トイレや障害者用駐車場の利用についても配慮してほしいです。

一人でも安全に出かけられるまちに

歩道などが平坦に整備されて、車イスでも出かけやすいまちになりました！でもまだ段差のある道もあり、車イスで転びそうで、怖いんです…。また、ごみ集積所がある歩道は、ごみで道がふさがれて、車イスで通れない時があります。迂回して車道を通ることになり危険なので、配慮してほしいです。

最近、障害者に対して親切な人が増えたと思います！でも、急に腕などを掴まれると驚いてしまうので、介助してくれる時は、先に声を掛けてくれると嬉しいです。子どもだけではなく、大人に向けたバリアフリー教室もあったら良いですね。



自立支援センター ライフサポート水戸の皆さん